

地域での「助け合い」
共助

非常時には地域コミュニティが「共助」につながる
災害発生時、すぐに助け合うことができるのは近くにいる地域住民。もしものときに備えて、住民同士で災害対策を行うことが重要です。

自主防災組織

▶ **自主防災組織とは**

地域住民が協力・連携し、自分たちでできる防災活動を行うために結成される組織です。大きな災害が発生した場合は、消防署や消防団だけでは手が回らない場合も。そのようなとき、地域でできること(安否確認や避難誘導、要援護者の避難支援など)をすることで、地域の被害を軽減することができます。

▶ **自主防災組織の活動**

- ◆地域のイベントで、炊き出しの練習やテント設営の練習をする。
- ◆定例の清掃活動で、地域の危険箇所の調査や防災資機材の点検をする。
- ◆防災に関するチラシなどを定期的に作成・配布する。

行政による
公助

町の防災対策

町では、あらゆる災害に備えて、以下のことに取り組んでいます。

○町内 12 箇所の防災倉庫に格納している防災資機材の数量まとめ

種類	数量	種類	数量
1 毛布	2,900 枚	11 メガホン	24 個
2 床シート	49 本	12 食器セット	12 ケース
3 簡易テント	26 基	13 飲料水	6,240 本
4 間仕切り	50 張	14 ストープ	24 台
5 簡易トイレ	24 セット	15 灯油用ポリタンク	24 個
6 発電機	12 台	16 水用ポリタンク	24 個
7 投光機	13 台	17 ブルーシート	120 枚
8 懐中電灯	48 個	18 アルファ米	2,400 食
9 コードリール	12 個	19 保存パン	1,152 食
10 ガソリン携行缶	12 個	20 玄米スナック	12 ケース

▶ **備蓄倉庫**

東日本大震災後に作成した茨城県災害備蓄計画により、町内 12 か所に防災倉庫を整備し、備蓄を進めています。この計画における備蓄量は、東日本大震災時に避難された人数(約 1200 人)を根拠としています。

▶ **防災行政無線**

災害時、町内全域に迅速かつ正確な情報を伝えます。聞き取りにくかった防災行政無線の内容は電話でも確認することができます(左下)。

防災行政無線の内容は電話でも確認できます

防災行政無線テレホンサービス
☎ 029-292-8861 (有料)
フリーアクセス
☎ 0800-800-8848 (無料)

防災情報が届きます



茨城県防災メール
防災情報を電子メールで配信しています。



町公式Twitter (ツイッター)
暮らしの情報やイベント情報を配信していますが、災害時には防災情報を配信します。



自然災害そのものを防ぐことはできません。しかし、日常を取り戻した今なら、防災に向けてできることがたくさんあります。まずは、自分でできることを考え、いつ起こるのか分からない災害に備えることが大切です。加えて、近所や地域とのつながりを見つめなおしてみよう。普段から声を掛け合ったり、イベントに参加するなど、地域の絆を深めることが「共助」へとつながります。発災後しばらくの間は、行政の支援までの間に、地域住民が自発的に避難行動をとったり、地域コミュニティで助け合うことが重要となります。家族や近所と力を合わせてできることを考えてみましょう。

いもじわんいもじわん

自分の命を守る
自助

災害についての知識と日ごろの対策が防災のカギ
防災は、自分の身を守る「自助」が基本。まずは災害についての知識を深め、自分や家族の身の回りの安全を確かめましょう。

非常時を考える

もしものとき
家族と連絡が途絶えたら…

- ①避難場所を決めておく
近くの避難所などを家族で確認して、万が一の際に避難する場所をあらかじめ決めておきましょう。町ホームページでも確認できます。
▶茨城県町市街図(総務課で配布)



- ②ダイヤル「171」を使う
大災害発生時に「171」をダイヤルすると、伝言を音声で残すことができます。残した音声で家族などが全国どこからでも安否確認できます。

- ③災害用伝言板を使う
携帯各社のインターネットトップメニュー「災害用伝言板」に、誰でも伝言を登録できます。また、電話番号をもとに伝言を確認できます。

災害時に役立つ備蓄品

大災害が発生したときには、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまう可能性があります。ライフラインが止まっても生活できるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大事です。

☐ **飲料水**

大人1人につき1日3ℓが目安。1週間分の21ℓ分を備蓄することが理想。

- ☐ **携帯ラジオ**
- ☐ **カセットコンロ**
- ☐ **食料品**

アルファ米やレトルト食品など1人3日分が目安。

その他

マッチ、ろうそく、カイロ、軍手、ウェットティッシュ など

▶ **乳幼児がいる家庭の備蓄品**

- ☐ **紙おむつ**
- ☐ **離乳食や粉ミルク**

▶ **高齢者がいる家庭の備蓄品**

- ☐ **常備薬とお薬手帳**
- ☐ **ゼリー飲料**

▶ **避難場所・避難所**

No.	施設名	指定緊急避難場所				指定避難所	一時避難場所
		洪水	土砂災害	地震	大規模な火災		
1	長岡小学校	○	○	○	○	○	
2	葵小学校	○	○	○	○	○	
3	大戸小学校	○	○	○	○	○	
4	旧川根小学校	○	○	○	○	○	
5	旧上野合小学校	○	○	○	○	○	
6	旧沼前小学校	○	○	○	○	○	
7	駒場庁舎(旧駒場小学校)	○	○	○	○	○	
8	旧石崎小学校	○	○	○	○	○	
9	旧広浦小学校	○	○	○	○	○	
10	明光中学校	○	○	○	○	○	
11	青葉中学校	○	○	○	○	○	
12	青葉小学校	○	○	○	○	○	
13	県立茨城東高等学校	○	○	○	○	○	
14	県立農業大学校	○	○	○	○	○	
15	中央公民館大ホール	○	○	○	○	○	
16	町総合福祉センター「ゆうゆう館」	○	○	○	○	○	
17	桜の郷中央公園	○	○	○	○		
18	香取地区学習等共用施設						○
19	大山原農村集落センター						○
20	南川又農村集落センター						○
21	五里峰農村集落センター						○
22	赤坂農村集落センター						○
23	秋葉公民館						○
24	高齢者のこころコミュニティセンター						○
25	中山集落農事集会所						○
26	木部南部公民館						○
27	小幡区民センター						○
28	上雨谷農村集落センター						○
29	神谷農村集落センター						○
30	飯塚新農村集落センター						○

▶ **福祉避難所**

福祉避難所は、在宅の障がい者や高齢者のうち、より専門的な支援や援護の必要性の高い避難者のために確保されるものです。町総合福祉センター「ゆうゆう館」のほか、町と協定を締結している11か所の施設があります。

※福祉避難所への避難は、町がそれぞれの施設への開設要請後になりますので、災害発生時には、まず一般の指定避難所に避難し、福祉避難所に避難することは避けてください。

	施設名
1	特別養護老人ホーム ときわ木園
2	特別養護老人ホーム 桜の郷元気
3	特別養護老人ホーム みどりの杜
4	介護老人保健施設 エバーグリーン
5	介護老人保健施設 レイクヒルひめま
6	介護老人保健施設 桜の郷敬愛の杜
7	介護老人保健施設 葵の園 水戸
8	有料老人ホーム グランドホームとんぼ
9	障害者支援施設 潤沼学園 集まれガッツ村
10	障害者支援施設 あいの家
11	指定障害者支援施設 ひめま荘
12	町総合福祉センター 「ゆうゆう館」